

栃木県宇都宮市（令和2年7月30日作成）

地球温暖化をはじめとする環境問題に対応するため、「宇都宮市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」や「宇都宮市SDGs未来都市計画」において、都市の低炭素化や都市機能の集約、環境負荷の少ない都市整備などを推進することとしている。

「ネットワーク型コンパクトシティ」の核となる宇都宮駅東口地区においては、多様で高次な都市機能の集積による新たな都市拠点の形成に向け、交流拠点施設や商業・宿泊施設等の整備を行っており、こうした地区整備を好機ととらえ、宇都宮市の低炭素なまちづくりを先導していくための指標として、建物の省エネルギー化の促進や積極的な緑化の推進等の取組を定めた「宇都宮駅東口地区における低炭素まちづくり計画」を策定。

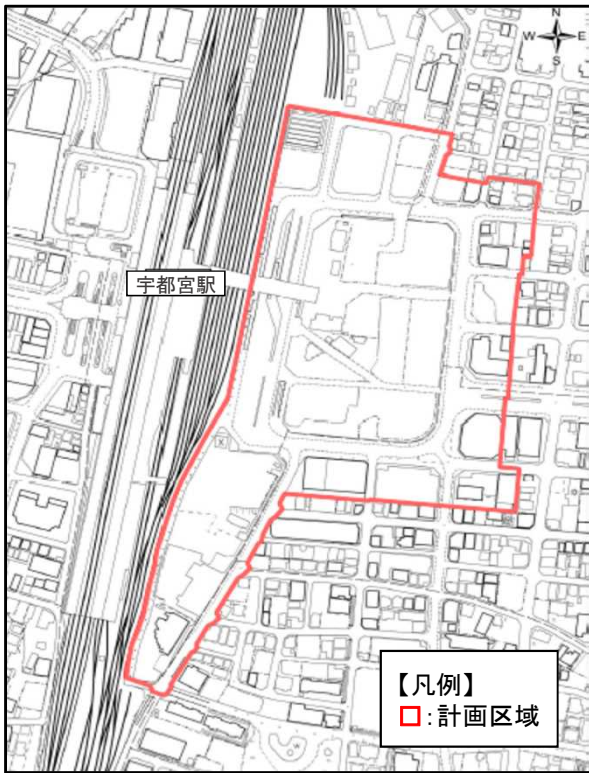
■目指すべき将来像

環境未来都市 うつのみやの顔となる
先導的な低炭素エリア
～エコで快適なまちの創造を目指して～

■計画区域と計画期間

■計画区域：宇都宮駅東口地区地区計画の
9.0ha

■計画期間：2020年度～2025年度（6年間）



■具体的な取組

基本方針	項目・施策
低炭素化に配慮した都市拠点の形成と公共交通の利用促進（都市・交通）	<p>① 都市機能の集約 ⇒ 宇都宮駅東口地区整備事業の推進、都市機能誘導施設設立促進補助金、オフィス企業立地支援補助金、フレッシュマン・若年夫婦・子育て世帯等家賃補助、マイホーム取得支援補助等</p> <p>② 公共交通機関等の利用促進 ⇒ LRTの導入、バス路線の充実、市街地における生活交通の確保、トランジットセンターの整備、交通ICカードの導入、公共交通に関する案内情報の充実、モビリティ・マネジメント施策の推進、レンタサイクルの利用促進等</p> <p>③ 自動車利用の低炭素化 ⇒ 電気自動車等の普及促進、バス・タクシーへのゼロエミッション車の導入推進、電気自動車等のカーシェアリングの導入検討、ライドリングストップ等の普及促進等</p>
低炭素な建物・エネルギー利用（建物・エネルギー）	<p>① 建物の省エネルギー化の促進 ⇒ 省エネルギー性能に優れた建物の整備促進、住宅の断熱性の向上やバリアフリー改修等への補助</p> <p>② 低炭素エネルギーの利用促進と地区全体のエネルギー供給体制の構築 ⇒ 太陽光発電設備の導入促進、コージェネレーションシステムの導入、地下水熱活用システムの導入促進、LRT停留場等のLED照明の導入促進、省エネセミナーやガイドブックなどを活用した事業者向けの情報提供等</p>
積極的な緑化による憩いの場の創出（みどり）	<p>① 公共空間の緑化推進 ⇒ 交流広場への高木の植栽や緑地等のオープンスペースの確保、公共施設の緑化推進と維持・管理体制の確立、公共花壇の設置等による魅せる緑の創出等</p> <p>② 民有地等の緑化促進 ⇒ 商業・業務施設における緑化の促進、目を楽ませる花や緑の創出</p>



■計画の目標

計画期間終期（2025年度）において、一般的な街区整備と比べ、**26%**のCO₂排出量の低減を目指す。
（12,216t-CO₂/年）※BAU（business as usual 特段の対策をしない自然体）のケースとの比較